

月に社会を作るための勉強会 (ムーンビレッジ勉強会) 再開に向けて



<https://www.jasma.info/moonvillagestudy/>

勉強会世話人
稲谷芳文

月惑星に社会を作るための勉強会 (ムーンビレッジ勉強会)の経過

- 「探査の将来を考える勉強会」を開催. 2019年6月から6回開催
- 第3回ムーンビレッジ国際シンポ@2019年12月東京開催
- 「月惑星に社会を作るための勉強会(ムーンビレッジ勉強会)」として再開@2020年7月

以後2023年11月まで合計36回開催

- 第7回ムーンビレッジ国際シンポ@2023年12月・倉敷鳥取開催

月に社会を作るための勉強会(ムーンビレッジ勉強会)

月を手始めとして、大きな意味での人類の宇宙進出や、社会とでもいうべき大規模かつ持続的な有人宇宙活動の未来、というスコープでいろいろな話題を提供し議論するプラットフォーム。自由でサロンのような意見交換の場として機能。

2023年11月まで35回の勉強会開催を重ね、月や有人宇宙活動の多様な話題について議論。月社会のリファレンスモデルのスタディも実施。MVA(Moon Village Association)と連携して、MVA国際ワークショップのアジア開催(東京2019, 倉敷2023)の実行ボディ(LOC)としても機能。

月を巡る様々な状況の進捗や、内外のプロジェクトなどが実行に移され、未来に向けた構想やビジョンの議論が本格的かつ活発に行われるようになった現在では、勉強会の位置づけや議論するテーマもそれらの他の活動との関係で変わっていくべきだろう。

従来の方針を引き継ぎ、大きな意味での人類の宇宙進出や、社会とでもいうべき大規模かつ持続的な有人宇宙活動の未来、およびビジネスの視点などというスコープで自由な発想で、いろいろな分野の話題を提供し議論する場として機能することでどうか…

月をめぐる多様な会合やスタディなど(戦略基金, 飛行プログラムなどを除く, 順不同)

- 文科省・宇宙開発利用部会 国際宇宙ステーション・国際宇宙探査小委員会、中須賀主査
- 内閣府・月面活動に関するアーキテクチャ検討会・・・白坂座長. R6年度末で終了
- スターダストプログラム
 - ・ 経産省/総務省・月面エネルギーに関する技術課題整理。MRI-JSF、NICTがプライム R6年度末で終了.
 - ・ 国交省・宇宙建設革新プロジェクト. ゼネコン・建機メーカー等多数の企業が参加. R7年度末まで
 - ・ 農水省・月面等における長期滞在を支える高度資源循環型食料供給システムの開発戦略プロジェクト. SPACE FOODSPHEREがプライム. R7年度末まで
 - ・ 文科省/総務省・通信・測位. KDDI,NICTがプライム. R7年度末まで
- JAXA・・・日本の国際宇宙探査シナリオ・・・7月頃公開に向けて見直し中.
・・・ISAS理工学委員会国際宇宙探査専門委員会
- 宇宙技術戦略/科学・探査・低軌道分野・・・宇宙政策委員会宇宙科学・探査小委員会
- 一般社団法人月面産業ビジョン協議会・・・政学産の枠組み. 一般社団化して活動継続
- フロンティアビジネス研究会・・・MRIとispaceが主催. 活動継続中
- 月面開発フォーラム・・・日刊工業新聞主催
- 三菱グループ宇宙ビジネス懇談会・・・月に関する民間を中心とした活動の意見交換の場

月に人類社会をつくる
リファレンスモデル
検討報告書



2025年3月

月惑星に社会を作るための勉強会
リファレンスモデル検討ワーキンググループ



勉強会・・・月に社会を作る・・・リファレンスモデルスタディ報告

大規模な持続的有人宇宙活動の議論のたたき台のために、月に社会を作る時の前提をおいて課題を抽出・具体化する思考実験

アーキテクチャ(居住・生命維持・食糧・エネルギー・資源, ISRU, 輸送・・・)

ビジネス(資源利用, 観光, マネタイズ, 事業規模定量化)

社会運営の法・制度(段階的拡大に対応した法的・制度的考察)

ライフサイエンス(環境対応・順応から適応へ, 継世代, 進化)

文化人類学的側面(超長期の宇宙滞在の人类的課題, 倫理の問題)

再開第1回(5月21日)プログラム

- 日時 2025年5月21日(水)17時@X-NIHONBASHI BASE ラウンジ (Zoomハイブリッド開催)

- プログラム

- ・ 挨拶：勉強会の経過と今後に向けて……世話人代表：稲谷
勉強会の活動の経過やリファレンスモデルスタディの結果報告。今後の展望など。
- ・ パネル討論「月を巡る最近の状況と勉強会の今後の議論テーマ」モデレータ稲谷
パネリスト……佐々木宏(JAXA), 宮本英昭(東大), 金井宣茂(JAXA), 内田敦(MRI)

これまでの勉強会の活動やリファレンスモデルスタディ結果および月を巡る内外の状況などを俯瞰し、パネリスト各位それぞれの立場での活動や、その周辺の活動現状について紹介いただき、今後の勉強会の活動の方向性や未来志向で取り上げるべきテーマなどについて議論します。

- ・ MVA(ムーンビレッジアソシエーション)の活動現状報告・・黒須聡

